

## J I I D セミナー

# 農地・水保全活動と農業水利施設 シンポジウム

参加  
無料

農業と農村は、国民に安定的な食料を供給するのみならず、国土や自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承などの多面的機能を有しています。しかし、過疎化・高齢化により集落機能や地域資源の維持が困難となる中、多面的機能支払いの導入により地域共同の取組が支援されている他、6次産業化など、雇用・所得の創出や都市農村交流等の活性化につながる動きも見られます。

また、担い手へ農地集積し飼料米等の拡大を図るなど農業構造や営農体系の変化に対応すべく、農業用水や施設の管理についても一層の合理化が求められています。

さらに、近年大規模地震の発生や気候変動に伴う自然災害のリスクが高まっており、農村においても老朽ため池対策など「国土強靱化」に向けた取組を進めることが重要となっています。

こうした中、(一財)日本水土総合研究所は設立以来、シンクタンクとして農業農村整備及び農村振興に関する政策的及び技術的課題を解決するため調査研究を行い、各方面に発信しています。

この度その一環として、「農地・水保全活動と農業水利施設 シンポジウム」と題し、下記のとおりセミナーを開催することといたしました。

本セミナーでは、農業経済学がご専門で、混住化が進む農村部における農地・農業用水等の地域資源の管理について多くの論文や著書を発表されている岡山大学大学院環境生命科学研究科の本田恭子助教から、「農地・水保全活動の意義と役割」をテーマとしたご講演をいただきます。

また、(一財)日本水土総合研究所では、上記を踏まえ、農業・農村の振興のため農業農村整備事業に関する政策的及び技術的課題に関する様々な調査研究を行っており、本セミナーでは「ため池の維持管理と耐震対策の優先度評価」と「農業用水の現状と課題」について、最近の研究成果の一端を紹介します。

多くの方に本セミナーご参加いただくことで、今後の中国四国地方における地域農業の振興や農地・農業用施設の維持管理に向けた活動の一助となれば幸いです。

日時：平成27年 10月 9日(金) 13:30~16:30  
(受付入場開始 13:00~)

会場：岡山市民会館 4階大会議室

〒700-0823 岡山県岡山市北区丸の内2丁目1番1号

交通機関 路面電車の岡山駅前(停留所)で「東山行き」に乗り、  
城下(停留所)下車。徒歩3分。

※ 来客用駐車場はありませんのでお近くの有料駐車場をご利用ください。

TEL : 086-223-2165

HP : <http://www.okayama-shiminkaikan.jp/index.html>

定員：100名 (定員になり次第締め切りとさせていただきます。)

主催：一般財団法人 日本水土総合研究所

(写真) 中国四国農政局ウェブサイトより

# プログラム

13:00	開場・受付	
13:30	開会	主催者挨拶 一般財団法人 日本水土総合研究所 理事長 齋藤 晴美
13:40	基調講演 (50分)	農地・水保全活動の意義と役割 岡山大学大学院環境生命科学研究科 助教 本田 恭子
14:30	質疑(15分)	
(14:45~15:00) 休 憩		
15:00	講演 (40分)	ため池の維持管理と耐震対策の優先度評価 一般財団法人 日本水土総合研究所 調査研究部 部長 渡邊 史郎
15:40	質疑(5分)	
15:45	講演 (40分)	農業用水の現状と課題 一般財団法人 日本水土総合研究所 企画研究部 主任研究員 草 大輔
16:25	質疑(5分)	

## セミナー会場

岡山市民会館 4階大会議室



岡山市民会館ウェブサイトより

## 講師の紹介

講師 本田 恭子 (ほんだ やすこ) 氏

岡山大学大学院環境生命科学研究科 助教 (特任)  
農業経済学を専門としており、混住化が進む農村部に着目した農業水利施設等の地域資源の管理に関する調査・研究において広く活躍している。

### 【略 歴】

1981年 兵庫県生まれ  
2004年 京都大学農学部生産環境科学科卒業  
2006年 京都大学大学院農業研究化修了課程修了  
2012年 京都大学大学院農学研究科博士後期課程修了  
博士 (農学) 取得

2012年4月 岡山大学大学院環境生命科学研究科 助教

### 【主な著書】

「定住型新規就農に向けたキャリア支援」  
(共著) 金沢夏樹編集代表  
「農業におけるキャリア・アプローチ—その展開と理論—」  
農林統計協会、2009、pp. 313-324

このまま切らずに FAX 又はメールで送付してください

## 参加申込書

定員 (100 名) になり次第締め切りとさせていただきます。

所属等	参加者氏名	※CPD 登録番号
住 所 〒		
電話番号		

※本セミナーは (公社) 農業農村工学会 技術者継続教育機構 (CPD) 認定プログラムとして申請致します。

## 申 込 先

03-3502-1329 (FAX) または [tomoaki-koyama@jiid.or.jp](mailto:tomoaki-koyama@jiid.or.jp)

お問い合わせは、日本水土総合研究所 草(くさ)、小山までお願いします (電話 03-3502-1576)